

平成二十八年学力検査

全日制課程 A

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ学科名と受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(6)ページまであります。(6)ページの次は白紙になっています。受検番号などを記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えはすべて解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

学科名			
科			
受検番号			
第			
番			

国語

— 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1

2

3

3

著作権に配慮して掲載を控えています

4

5

6

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して  
掲載を控えています

岡田美智男、松本光太郎『ロボットの悲しみ コミュニケーションを  
めぐる人とロボットの生態学』による

(注) ○ ①②は段落符号である。

- 熊谷晋一郎くまがや しんいちろう 小児科医。一九七七。
- ギブアップきぶあっぷ 二ここでは、動きが取れなくなってしまうこと。
- 袋小路かぶくろじ 二通り抜けられない場所のこと。
- かいがいしくかいがいしく 二どんな苦勞もいやがらず。
- ランダムらんだむ 二ここでは、不規則なさま。
- 他力本願たからほんがん 二自分以外の力をあてにしていること。
- 方略りやく 二方策。策略。

(一) ① たかをくくっていた の意味として最も適当なものを、次のアから

- エ までのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。
- ア 心待ちにしていた
- イ あきらめていた
- ウ のんびりしていた
- エ 軽く考えていた

(二) ② にあてはまる最も適当な形容動詞の語幹を、本文中から  
そのまま抜き出して、三字で書きなさい。

(三) ③ 自立するとは、むしろ依存先を増やすことなのだ とあるが、筆者  
は第四段落で、この観点から見たお掃除ロボットの振る舞いについて  
述べている。それを要約して、六十字以上七十字以下で書きなさい。  
ただし、「弱点」、「味方」ということばを使って、「お掃除ロボットは、  
……」という書き出しで書くこと。二つのことばはどのような順序で  
使ってもよろしい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

(四) 「A」から「C」までのそれぞれにあてはまる最も適当なこと  
ばを、次のアからエまでのの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書  
きなさい。

- ア それでは
- イ すると
- ウ それとも
- エ むしろ
- オ とうてい
- カ ところが

(五) ④ とてもスマートに思える とあるが、筆者はロボットのどのような  
点をスマートと感じているのか。その説明として最も適当なものを、

次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 自分ですべてやろうとせず、ある程度周囲に任せることによって  
結果的に役割を果たしている点

イ 自力ではとても解決できない課題であると分かっている、あき  
らめることなく努力している点

ウ 自分の力ではできる限り温存しておき、他の力をうまく利用するこ  
とで目標を達成しようとする点

エ 自力で解決できるか分からない課題にも果敢に挑み、他の助けを  
借りずに最後までやり遂げる点

(六) 次のアからエまでのの中から、その内容がこの文章に書かれているこ  
とに最も近いものを選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア まるで生きていくようなロボットを見ると、能力主義に陥ってい  
る現代人は失いかけていた人としての優しさを取り戻せる。

イ 完全に自立したロボットを作ることにはまだ難しいが、いずれ人に  
依存しないロボットが発明されて人と共生できるようになる。

ウ 科学技術の急速な進歩により、誰の手も借りずに任務を遂行する  
自立型ロボットがすでに現実のものとして使われている。

エ 思わず手助けをしたくなるロボットと私たちとの関係に、ロボッ  
トと人が共生していく上での一つの在り方を見ることが出来る。

二 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

〔本文にいたるまでのあらすじ〕

藤ヶ丘女子高校二年の加藤東子(かとうはるこ)は、俳句同好会に所属している。同校は俳句甲子園の全国大会に出場したが、決勝トーナメントの二回戦で敗退した。顧問の新野先生(にいの)とともに会場近くの公園へ移動した東子と五人の選手は、敗者復活戦のために与えられた「草笛」の題で、チームとして提出する一句を作っている。

1

著作権に配慮して掲載を控えています

2

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

(注)

- [1] [4]は段落符号である。
- 披講||声に出して俳句を読み上げること。
- スタメン||試合開始の時の選手。スターティングメンバーの略。
- ネガティブ||否定的。消極的。
- 破調||ここでは、五・七・五の定型をくずすこと。
- ニュアンス||微妙な意味合い。
- マスター||技術などを習得すること。
- 上五||五・七・五のうちの最初の五音。

(森谷明子『春や春』による)

(一) ① 打てば響くように の意味として最も適当なものを、次のアからエ

- ア すぐには的確な反応がある様子
- イ 自分から進んで伝えようとする様子

ウ 遠くまで聞こえるように話す様子  
エ 急に思い出した様子

(二) 第一段落から第二段落にかけて描かれている東子の心情の変化を表したものと最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 失望 ↓ 疑い ↓ 怒り ↓ 諦め  
イ 遠慮 ↓ 喜び ↓ 照れ ↓ 安心  
ウ 失望 ↓ 緊張 ↓ 興奮 ↓ 安心  
エ 遠慮 ↓ 迷い ↓ 諦め ↓ 喜び

(三) ② 表情をほころばせる とあるが、東子は、茜のこのような表情の変化をどのように受け止めているか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 後輩たちのことを心配する自分の気持ちを察してくれた。  
イ 真名にほめられたことを自分のことのように喜んでくれた。  
ウ 自分が茜の句に通じる思いを詠んだことに気付いてくれた。  
エ 自分が茜の句から言葉を引用したことを許してくれた。

(四) ③ もつとストレートでいいかもね とあるが、この意見を取り入れた表現を、本文の俳句の中からそのまま抜き出して、四字以上六字以内で書きなさい。

(五) 第三段落の終わりで新野先生が吹いた草笛は、どのような効果をもたらししているか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 題からの連想だけで作句している生徒たちに、実感に基づいて句を作るきっかけを与える効果  
イ 決勝トーナメントで負けたことにより一度は失われた結束を、生徒たちに再び取り戻させる効果

ウ 甲高い音とやわらかい音の対比により、友という言葉がもつ二面性を暗に生徒たちに伝える効果

(六) 互いの句に対する生徒たちの激しい議論を終わらせ、その場の張り詰めた空気をなごませる効果  
草笛の句をめぐる登場人物の思いを説明したものと最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 茜は、俳句の言葉よりも草笛の音の方が、自分の気持ちをやわらかく伝えることができると思っている。  
イ 瑞穂は、草笛とはなかなか音が出せないものであり、それを出発点に句を詠めばよいと思っている。

ウ 夏樹は、茜の句の「友」を「大事な人」とする方が、句に広がりが出て耳にやわらかくなると思っている。  
エ 真名は、どんなに頑張っても草笛の音が出せない自分たちは、草笛を句に詠んでも仕方がないと思っている。

オ 理香は、草笛で正しく音階が吹けるようになってから、その実感をも句に詠み込みたいと思っている。

三 次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①から③までの文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。  
① 庭に植えたバラのつぼみが膨らむ。  
② いかなる時も人間のソングンは重んじられなければならない。

③ 専門のリョウウイキについて深く学ぶ。  
(二) 次の文中の「④」にあてはまる最も適当なことを、漢字一字で書きなさい。  
彼は自分の会社を起こそうと、身を「④」にして働いた。

四 次の古文を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

中国 唐土の召公奭は周の武王の弟なり。成王の三公として燕といふ国を

つかさどりき。むかしの西の方を治めし時、ひとつの甘棠のもとをしめ治めた。 かたつて 下に座つて

て 政を行ふ時、 つかさど 役人 司人より始めてもろもろの民にいたるまで、その

本をうしなはず、 あまねく 又、人のうれへをことわり、 重き罪をも なたし 訴えを公平に裁き 許し 広く

めけり。国の民ごぞりてその徳政をしのぶ故に、召公去りにし跡までも、 亡くなつた後

かの木を敬ひてあへて伐らず、歌をなんつくりけり。後三条天皇、東宮 皇太子

にておはしけるに、 さねま 学士実政任国におもむく時、「国の民たとひ甘棠の 国へ赴任するとき

詠をなすとも、 忘るることなかれ、 多くの年の風月の遊び」といふ御製 自分

を給はせたりけるも、 この心にやありけん、 いみじくかたじけなし。 長年ともに 楽しんで 本 に あり が たい こと である

(『東関紀行』による)

(注) ○ 武王 中国の周王朝の祖。 ○ 成王 武王の子。

○ 三公 周王朝時代の最高位の官名。 ○ 甘棠 果樹の名。

○ 後三条天皇 平安時代後期の天皇。

○ 学士 皇太子の教育に当たる学者の官名。

○ 実政 藤原実政。平安時代後期の貴族で学者。

○ 風月の遊び 自然の美しい風物に親しんで詩歌を作ること。

(一) 波線部アからオまでの中から、主語が他と異なるものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

(二) ① 忘ることなかれ に込められた心情として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 学問の世界で競い合った昔のことを、時には思い出してほしい。

イ 任国でも自然の風物に親しみ、歌を作つて都へ送つてほしい。

ウ 学者の立場で政治に携わることには大変だが、頑張つてほしい。

エ 任国でどれだけ慕われても、都での日々を覚えていてほしい。

(三) ② この心 の内容として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 美しい自然を歌によんだ頃を思い出してなつかしむ気持ち

イ 召公のように国民から慕われる天皇になりたいと願う気持ち

ウ 故事の例にならつて任国で善政を行うことを期待する気持ち

エ 目を掛けて高官に取り立ててくれた東宮に感謝する気持ち

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 召公は燕国を治めていたとき、自らゼいたくを戒めて公平な政治を行つたことから、主君としての評価を高めた。

イ 召公の善政に心から敬服していた国民は、その徳を慕つて死後も

召公ゆかりの木を切らず、公をしのぶ歌を作つた。

ウ 実政は、都を離れ任国へ下る自分を心配する東宮に、都のことは

決して忘れないという気持ちを歌にして贈つた。

エ 実政が任国に向けて出発する日、東宮は甘棠の木の下でともに政治を行つたことを思い出し、一人その場所を訪れた。

(問題はこれで終わりです。)

一	(一)	お 掃 除 口 ボ ッ ト は 、						70 60	※一		
	(二)										
	(三)										
	(四)										
	(五)										
	(六)										
A (            ) B (            ) C (            )		□									
二	(一)	□						70 60	※二		
	(二)										
	(三)										
	(四)										
(五)		□									
(六)		□									
三	(一)	①	さむ				②	70 60	※三		
	(二)	□									
	(三)										
	(四)										
(五)		□									
(六)		□									
四	(一)	□						70 60	※四		
	(二)										
	(三)										
	(四)										
(五)		□									
(六)		□									
学 科 名	科						受 検 番 号	第	番	得 点	※

(注) ※印欄には何も書かなくてかまいません。